

アプリケーションカタログ チオ硫酸ナトリウムのファクタ

関連業界	:	無機時工業品
使用装置	:	電位差自動滴定装置
測定手法	:	電位差滴定法/沈殿滴定
関連規格	:	JIS K8001

1. 概要

容量分析では、滴定や添加などに用いる標準液のモル濃度を、端数の無い数値と、端数を係数にした数値に分けて正確なモル濃度を表しますが、そのときの係数をファクターと呼んでいます。

0.1mol/L チオ硫酸ナトリウム溶液のファクターは、「JIS K 8001-1998 試薬試験方法 通則」に基づいて、よう素酸カリウムを溶かしてよう素を遊離させた硫酸酸性のよう化カリウム溶液を用いて当量点まで滴定します。その滴定量からチオ硫酸ナトリウム溶液の濃度を標定し、算出します。当量点は、滴定曲線の最大変曲点です。

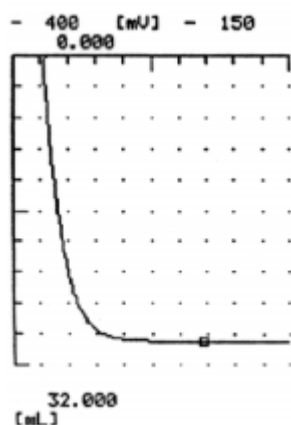
2. 装置構成

本体	:	電位差自動滴定装置 (プリアンプリファイア: STD)
電極	:	複合白金電極

3. 試薬

滴定液	:	0.1mol/L チオ硫酸ナトリウム溶液
滴定溶媒	:	よう素酸カリウム、硫酸(1+1)、よう化カリウム

4. 測定例



—滴定曲線—

—測定結果—

	Sample (g)	Titer (mL)	Factor
1	1.0483	29.5322	0.9922
2	1.0483	29.4642	0.9945
3	1.0483	29.5241	0.9925
Average			0.9931
S.D.			0.0013
R.S.D.			0.13

詳細は、下記までお気軽にお問い合わせください。

<問い合わせ先> 京都電子工業株式会社

<http://www.kyoto-kem.com/ja/contact/form.php>